

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅡD (English ⅡD)					担当教員	池 優子 (イケ ユウコ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL 資格対応科目
	2011-0-21-012	教養科目	必修	2 単位	2 年次	通年		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL 資格対応科目
	2411-0-21-010	教養科目	必修	2 単位	2 年次	通年		

① 授業のねらい・概要
言葉はその言葉の国の文化なので、言語としての英語だけでなく、英語を話す国の歴史や民族、宗教、音楽などにも触れ、日本語との違い、ひいては自分のアイデンティティも考えるきっかけとしたい。英語に苦手意識がある学習者にも、“英語”を体感してもらえるよう、実生活の様子のイラストや画像を使い、生きたコミュニケーションを目指す。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
学生が主体的に、各トピックに対して自分の体験を伝えたり、相手の話を聞き、自分の意見を伝えるなどのペアワークまたはグループワークによる参加型。文法事項などは確認のための小テストを行う。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
英語Ⅰ
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
白倉美里・砂田緑 他(2025) 「Build Up!」 金星堂
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
アンケートによると、学生が主体的に学習するスタイルでのインタラクティブな授業を通して、自分ができたことが自信につながっている。学生が相互に影響し合い、気づきを得ている。よって、一方的ではない参加意識を望む。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) コミュニケーション：自分の考えを英語で伝えることができる。また英語で他者の考えを聞くことができる。 (ii) リーディング：英語の意味を正しく理解することができる。 (iii) ライティング：英語で自分の経験や意見を書くことができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) コミュニケーション	自分の考えを正しい英語の文章で伝えることができる。また英語で他者の考えを聞き英語で返事することができる。	自分の考えを概ね英語で伝えることができる。また英語で他者の考えを聞き、相槌を打つことができる。	自分の考えを2語文程度の英語で伝えることができる。また英語で他者の考えを聞くことができる。日本語なら返事できる。	自分の考えを単語レベルの英語で伝えることができる。また英語で他者の考えを聞いても返事ができない。	自分の考えを英語で伝えることができず、また英語で他者の考えを聞くことができない。
(ii) リーディング	英語の意味を正しく理解することができる。	単語の意味がわかれば、英語の意味を概ね理解することができる。	英文の意味を翻訳アプリを使えば理解することができる。	英単語の意味を翻訳アプリを使えば理解することができる。	英語の意味を正しく理解することができない。
(iii) ライティング	英語で自分の経験や意見を書くことができる。	単語を調べながら、英語で自分の経験や意見を概ね書くことができる。	選択肢があれば英語で自分の経験や意見を書くことができる。	英語の例文を見て並べ替えて自分の経験や意見を書くことができる。	翻訳アプリを使わなければ英語で自分の経験や意見を書くことができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%	20%	10%	10%			100%
(i) コミュニケーション	20%	10%		10%			40%
(ii) リーディング	20%	10%					30%
(iii) ライティング	20%		10%				30%
フィードバックの方法	小テストを採点後返却し、解説の時間を設ける。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	自己紹介の文を考える	90 分
2	Unit 1 / 動詞の現在形	知らない単語を調べる	90 分
3	Unit 2 : Learning more about Japan	知らない単語を調べる	90 分
4	Unit 2 / 形容詞	小テストの準備学習	90 分
5	Unit 3 : Making music	知らない単語を調べる	90 分
6	Unit 3 / 動名詞	小テストの準備学習	90 分
7	Unit 4	知らない単語を調べる	90 分
8	Unit 4 / 接続詞	小テストの準備学習	90 分
9	Unit 5 : The origin of my name	知らない単語を調べる	90 分
10	Unit 5 / 名詞	小テストの準備学習	90 分
11	Unit 6 : Cultural Differences	知らない単語を調べる	90 分
12	Unit 6	英語の動画を観る	90 分
13	Unit 7 : Noisy Neighbors	知らない単語を調べる	90 分
14	Unit 7	小テストの準備学習	90 分
15	前期のまとめ	前期の復習	90 分
16	Unit 8	知らない単語を調べる	90 分
17	Unit 8 / 現在完了形	夏休みの作文	90 分
18	Unit 9 / 助動詞	知らない単語を調べる	90 分
19	Unit 10 / 不定詞	小テストの準備学習	90 分
20	Unit 11 : The future ahead	知らない単語を調べる	90 分
21	Unit 11	小テストの準備学習	90 分
22	Unit 12 : Make my dream come true	知らない単語を調べる	90 分
23	Unit 12	小テストの準備学習	90 分
24	Unit 13 : My strengths	知らない単語を調べる	90 分
25	Unit 13 / 比較級	小テストの準備学習	90 分
26	Unit 14 : Youth Power	知らない単語を調べる	90 分
27	Unit 14 / 受動態	小テストの準備学習	90 分

28	Unit 15 / 未来表現	知らない単語を調べる	90 分
29	Unit 15	小テストの準備学習	90 分
30	後期のまとめ	後期の復習	90 分

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を基本とするが、一部協同学修型 AL を採用する。テキストが提示する学生の身の回りのテーマから主体的に課題を選び、調べ、まとめてグループワークやディスカッションをする。まとめたものをプレゼンテーションにてシェアをし、学生同士も評価をする。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	